

モバイル SDK Power Mode とその使用方法について

概要

WalkMe Mobile SDKバージョン1.2.0(AndroidおよびiOS)以降から開始し、WalkMeのPower Modeを使用して(Mobile ConsoleとのWiFiまたは手動接続を作成する必要なく)、アプリケーション自体の管理メニューを通してコンテンツを管理できます。

アプリのPower Modeメニューで次の機能がご利用いただけます：

- **キャプチャ**：画面、要素をキャプチャし、ワークスルーをキャプチャおよび編集する
- **Campaignsのプレビュー**：アプリでどのようなCampaignが表示されるかを確認
- **シミュレート**：作成したコンテキストで複数のCampaignsと追跡イベント(ゴール)を一度にテストし、セグメンテーションを考慮
- **アプリ情報の表示**：現在使用しているアプリ SDK およびデバイスの情報を表示します
- **キャプチャされたアイテムの管理**：キャプチャされた画面と要素の表示と更新をします。

Power Modeに入ると、すべてのデバッグログが自動的にオンになります。

ユースケース

Power Modeのユースケースには次が含まれます：

- アクション時にアプリをMobile Consoleに接続する必要なく、アプリ内で次のようなコンテンツモデレーションアクションを実行します：
 - キャンペーンで使用可能なコンテンツとワークスルーをキャプチャ
 - Campaignsおよび追跡イベント(ゴール)のテスト
 - アプリ自体内からアプリまたはWalkMe Mobile SDKの重要な情報を表示します。例えば、アプリがMobile Consoleと正常に統合されていることを確認します。